

# 1999年の日本格付研究所の格付実績

株式会社日本格付研究所（JCR）は、1999年（1-12月）の格付変更状況並びに格付分布状況をまとめた。

99年の業種別格上げ、格下げの件数と99年末における格付分布状況は以下の通りである。

## <居住者長期格付>

(1) 99年のJCR長期債務格付の変更社数は113社となり、前年に引き続き高水準となった。しかし、その内訳は、長引く景気低迷を反映して、格上が3年連続の減少となる18社にとどまったのに対して、格下は95社と前年を大幅に上回り、過去最高となった。

(2) 格上案件は、製造業、非製造業とも9社となった。業種別で特に際立った特徴はみられなかったものの、情報通信関連（4社）の格上や事業再編のための合併・提携等による格上（4社）が目立った。

(3) 一方、格下案件は、製造業37社、非製造業58社となった。業種別にみると、製造業では鉄鋼（4社）、輸送用機器（9社）で前年に引き続き格下が行われたのをはじめ、非製造業でも、建設（4社）、民鉄各社やトラック運送各社を中心とする陸運（14社）、商社を中心とする卸売（9社）、小売（9社）等の業界で見直しが続いた。また金融では前年の銀行の格下が収束に向かいつつあったものの、代わって保険（15社）の下げが目立つ結果となった。

## 業種別格上げ・格下げの件数

業種	製造業											非製造業											
	食料 繊維 製品	パル プ 紙	化学 製品	医 薬 品	石 油 石 炭	ゴ ム	鉄 鋼	非 鉄 金 属	機 械	電 機	輸 送 機 器	他 製 品	建 設	陸 運	空 運	通 信	卸 売	小 売	銀 行	保 険	不 動 産	サ ー ビ ス	
格上げ	2		1	1	1				3	1						2	1	2	1	1		2	
格下げ	2	1	2	2	1	1	4	1	3	3	5	9	3	4	14	1		9	9	2	15	1	3

## 格付の分布状況

格付け	AAA	AA+	A+	BBB+	BB+	B+	CCC+	D	合計
社数	14	64	192	209	25	7	1	2	514
構成比 (%)	(2.7)	(12.5)	(37.4)	(40.7)	(4.9)	(1.4)	(0.2)	(0.4)	(100)

注) クレジットモニター継続中9社、p格付け20社を含む。

## <非居住者長期格付>

(1) 日系企業については、親会社の格付変更に伴い見直しを行ったもの。

(2) 非日系格付先

アジアの通貨・経済危機の沈静化とエマージングマーケットの景気回復を受けて、99年のJCR長期債務格付の変更は、格下7件に対して、格上12件と格上が格下を上回る結果となった。

格下案件では、中国の国際信託投資公司については、相次ぐ金融機関の破綻と、一部の金融機関について利払い遅延等が発生し、中国の金融システム全体に対する信認が揺らいだことを受けて格下を実施した。

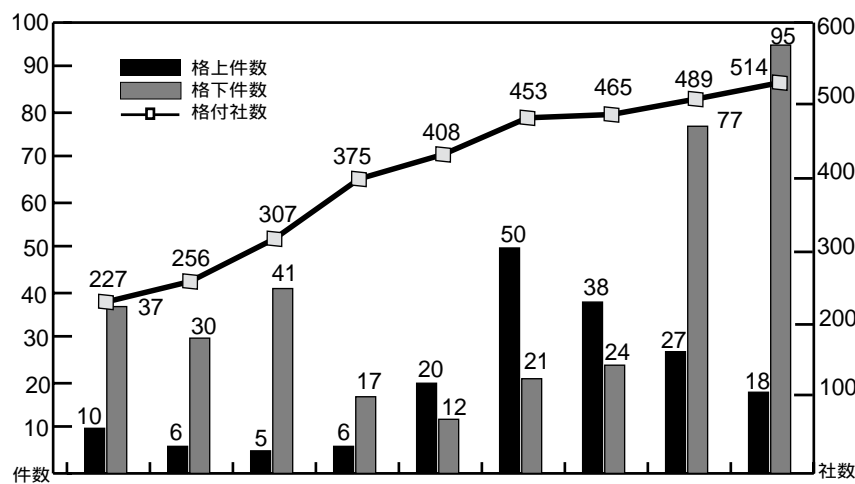
インドとインドの各社については、インドの政治的不安定性の増大から格下を行った。

格上案件については、アジア経済の全般的な景気回復の中で、特に韓国経済の回復が顕著なことから、韓国のソブリンシーリングおよび韓国の各社の格上を実施した。東欧では、ハンガリーは経済も好調なうえに財政構造が大きく改善したことから格上を実施した。

□

(2000. 1. 4公表)

## 格付推移



注1) 格上/格下社数は、期中に複数回の格付変更があった場合にはそれぞれをカウントしている。

注2) 格付社数は各年12月末現在の格付対象社数。